

歴史のみち景観モデル地区 景観まち歩き

令和4年11月1日(火)

和紙ふるさと・商都小川町地区のまち歩き



歴史のみち広域景観形成プロジェクト

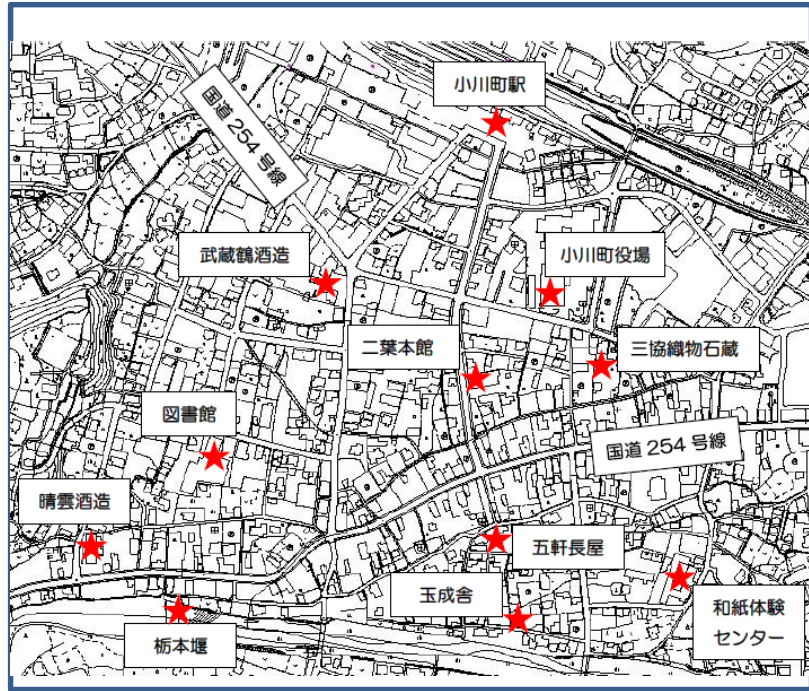
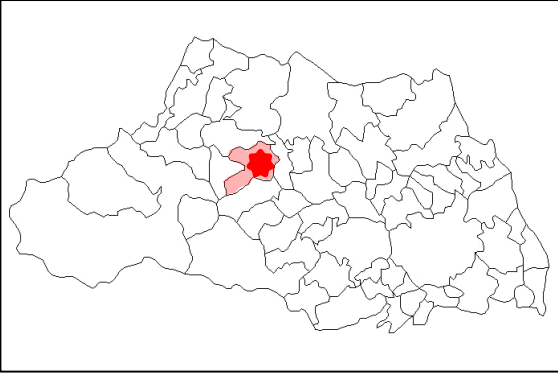
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



「和紙のふるさと・商都小川町」地区の概要



地区の概要

○交通

東武東上線・JR八高線 小川町駅下車
小川町駅南側の市街地

○なりたち

・小川和紙や小川絹をはじめ、建具、酒造などの伝統産業で古くから市場として栄え、今も町家や洋館、蔵などが多く残っている。

景観資源

和紙体験学習センター



1936年(昭和11年)に建築された旧埼玉県製紙試験場で和紙の体験学習の拠点施設となっている。

槻川栃本堰



「武蔵の小京都」と呼ばれる所以の風景となっているのが槻川の眺め。栃本親水公園が町民の憩いの場となっている。

五軒長屋



南裏通りにある江戸時代末期に建築された五軒長屋。登録有形文化財へ認定手続きを進めている。

北・南裏通り



国道254号(昔の秩父往還)の1本裏にある通りは、土蔵・石蔵が多く残っている。

「和紙のふるさと・商都小川町」地区の取組

「歴史のみち景観モデル地区」
和紙のふるさと・商都小川町

小川町の歴史・文化再発見

商都ウォーク Short Walk



令和元年10月26日(土)

【午前の部】：まち歩き「商都ウォーク」（定員60人 多数応募の場合は抽選）
【午後の部】：ワークショップ「よみがえらせよう！昭和レトロの料亭」（先着30人）
旧「二葉支店」活用案を題材にしたUI/ペーシジョン・ワークショップ

すべて参加費無料 ※応募期間 9/1~9/24(必着)

申込み/問合せ

【午前の部】 埼玉県 都市整備部田園都市づくり課：TEL 048-830-5367

【午後の部】 小川町 都市政策課：TEL 0493-72-1221（内線253）

協働開催：埼玉県・小川町・小川町教育委員会・NPO法人小川町創り文化プロジェクト

Ver 2022.08

まち歩きマップ ガイドブック Travel Guide

WEB 版まち歩きマップ

解説箇所をマップで
確認できます



～ 小川町 ～

小川町「まちもい広場」

オープニングイベントのお知らせ



小川町の空き地を活用して、みんなが集える広場にしたい。そんな思いから、NPO 小川町創り文化プロジェクトは、小川町総合戦略推進補助金を得て、空き地を広場に変わる取り組みを始めました。統一した名前は「まちもい広場」。それぞれの広場には、かつてそこにあった商店の屋号と呼ばれます。完成後、日常は自由な集いの場として開放。週末などには、ワークショップやマルシェ、クラフト市などの会場としてお使いいただけます（要予約）。

【まちもい広場第一弾「ます屋」オープニングイベント概要】

- 日程：7/29(土) 18時～
 - 会場：まちもい広場ます屋
(埼玉県比企郡小川町小川27 ドラッグストア セキ堂ビル)
 - プログラム
 - ①町のフランススクール指導によるフランス体験（予定）
 - ②小川町に残る古文書の上級会
- その他、飲食ブース出店（コーヒー、焼きそば、たこ焼きなど）
※イベント内容は予定です。変更の可能性あります。



【お問い合わせ・申込み先】

〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川177 小川町創り文化プロジェクト 担当：平山友子

電話番号：090-6510-3357

E-mail：hira-tomo@celery.ocn.jp

https://ogawaplacemaking.jimdo.com

主催：NPO 小川町創り文化プロジェクト

後援：小川町・小川町教育委員会

1.文化と歴史的要件

国の重要文化財に指定されている青石を用いた石造法華経供養塔(六面塔・ろくめんとう)が大聖寺(芭蕉03)にあるほか、万葉集の研究者として名高い仙巖(万葉集01)が、文永6(1269)年、本格的な万葉集注家として学問的価値の高い「万葉集註釈」全10巻をこの小川町で完成させるなど、古くからの歴史と文化のある町である。



和紙の七夕飾りが盛り込まれる

また、1300年の歴史ある手漉き和紙、特に「和紙(和紙05)」の技術は、国の重要無形文化財に指定されており、平成26(2014)年11月にユネスコ無形文化遺産に登録された。

2.地理・風土的要件

小川町は、周囲を緑豊かな外縁の山々に囲まれた京都と同じ盆地で、市街地の中央に流川が流れる自然景観があり、歴史を彩って佇む史跡や在時の面影を留める街並みなどの風情、伝統ある夏祭り(和紙祭(寺社03))＝当地では「和紙まつり」がなまって、「おぎよん」と年配者は呼んでいます。がある。

3.伝統的産業要件

文化遺産である手漉き和紙のほか、同じく歴史を持つ「小川紙(和紙02-10)」や、森林資源を活用した「和紙(和紙01)」「和紙(和紙02)」などの伝統工芸品があります。また、良質な水と京都に似た盆地独特の気候や自然環境に恵まれ、「和紙(和紙01)」と異名をとった「和紙(和紙02)」は今でも3軒の酒造り酒蔵(和紙08～11)があるなど、伝統的な地産地消を中心に築かれた町である。

歴史

【歴史01】下里・青山板碑製作遺跡

板碑は、鎌倉時代から戦国時代にかけて盛んに造立された供養塔で、関東地方には緑泥石片岩(青石・下里石)で作られた「武蔵野板碑」が5万基以上造立されています。仏教信仰が広がりを果たした13世紀ごろから、関東では寺院の造立とともに板碑の造立が盛んになりました。その板碑を製作した場所がこの遺跡です。地盤調査などにより、板碑の石材採掘から板碑形に加工するまでの工程が明らかに、平成26(2014)年、国の史跡に指定されました。加工された板碑(未完成品)は素材として各地に運ばれ、造立地で板碑に仕上げられたと考えられます。



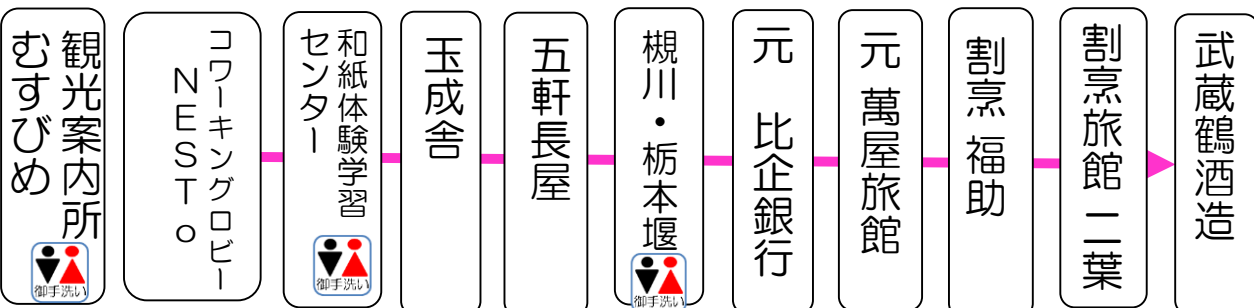
遺跡は杉木立に囲まれた山中にある

～まち歩きコースの御案内～



10:00

11:45



※ 記載の時間は、まち歩きの所要時間の目安です。

NPO 法人 小川町創り文化プロジェクト(まちぶん)

小川町 都市政策課
埼玉県 都市計画課

まち歩きは3者共同での取り組みです！